

主催:動物政策研究会

日時:2026年3月8日(日) 10時~16時15分

場所:成城大学(小田急線成城学園前駅徒歩5分) 3号館003教室



申し込みフォームはこちら

動物の命を考える (開催に向けて 第二報)

愛情と感謝と懺悔を込めて、動物の命を絶つことを考える

動物の命に支えられている社会を直視し、様々な背景や理由に基づく致死処置をタブー視せず、関係者の使命感を理解し、その葛藤に寄り添い、現場における動物福祉の向上とは何か、そのために必要なことは何かを考えます。

【午前の部】

- 動物の致死処置に関する「市民意識調査」と「専門家意識調査」の結果をご説明します。

【午後の部】

- 飼い主のいる家庭動物、自治体に収容された犬や猫、動物園・水族館の生き物、野生動物、実験動物、畜産動物など、各分野に関わる専門家が、現場の努力や悩みについて講演します。

【主催者について】

このシンポジウムは、日本学術振興会科学研究費JP23K01758「動物の致死処置の概念整理と、致死処置に関わる人々の苦悩や葛藤の研究(代表者:成城大学法学部 打越綾子)」の一環として行われます。

【後援団体の皆様】

日本動物病院協会、全国公衆衛生獣医師協議会、日本動物園水族館協会
東京動物園協会、日本野生動物医学会、「野生生物と社会」学会
日本実験動物学会、日本実験動物医学専門医協会、日本実験動物技術者協会
公私立大学実験動物施設協議会、全国家畜衛生職員会(敬称略)



イラスト:安斉俊様

スケジュールや詳細な申し込み方法は、次頁をご覧ください。

【ご挨拶】

動物の命を絶つことを考える――。

日々の生活の多くの場面に関わっていることなのに、私たち日本人が長らく表立って議論することを避けてきたテーマです。

では、そのテーマを、誰のために、何のために議論するのでしょうか。動物のためか、社会のためか、立場に応じて様々な考えがあってよいと思います。大切なことは、動物に対する想いを、誰もが正直に語り合える場を作ることだと考えています。

皆様のご参加、心よりお待ちしております。

動物政策研究会 代表 打越綾子

【スケジュール】

9:30 開場、受付開始

10:00-12:00 午前の部

趣旨説明、及び意識調査結果の報告：打越綾子（成城大学）

12:00-13:00 休憩時間

13:00-15:45 午後の部

小動物臨床関係：佐伯潤氏（日本獣医師会）

公衆衛生関係：遠山潤氏（新潟県動物愛護センター）

動物園・水族館関係：佐渡友陽一氏（帝京科学大学）

野生動物関係：加藤卓也氏（日本獣医生命科学大学）

実験動物関係：渡邊利彦氏（日本実験動物技術者協会）

畜産動物関係：戸澤あきつ氏（日本獣医生命科学大学）

15:45-16:15 総合討論

※当日のオンライン視聴はありません。終了後に録画配信を行います。

参加申し込みについて

参加費は無料です

参加の方法（会場での対面参加か、録画配信のみかを選んでください）

お申し込みいただいた方には全員録画配信URLをお伝えします。

対面参加（先着300名様まで）では、会場にて配付資料があります。

申し込み方法

Googleフォーム <https://forms.gle/b1qXPguXFubmgapd6>

右側の二次元バーコードも、ご利用ください。

お問い合わせ先 aya_uchikoshi@yahoo.co.jp
（ご対応に、数日かかることがあります）



注意事項

日曜日であるため、学食等が利用できません。

昼食は、各自用意した上で、お越してください。

休憩・昼食の際は、会場と同じ3号館地上1階にある学生ホールをご利用ください。

会場アクセス

小田急線急行 成城学園前駅北口より徒歩5分

成城大学 3号館地下1階 003教室

大学構内には、車を止める場所がありません。公共交通で、お越し下さい。

また、小田急線の快速急行は、成城学園前駅には停車しません。ご注意ください。

